

令和元年度パソコン寺子屋活動実績報告

作成 R02.04.01 塾長 森 繁満

1. 目的

- (1) パソコン寺子屋は菊川市1%地域づくり活動の団体で、地域づくり・人づくりのひとつとし、活動はボランティアで行う。
- (2) 受講対象者は、趣味や日常生活にパソコンを取り入れて活用したい中高年者とし、本講座でパソコン操作や知識を楽しく習得して、快適な生活に役立てるための支援となること、また本講座を通して人の輪が広がることを目的とする。

2. 特徴

- ㊟ 寺子屋は、他の教室とはひと味違うユニークな授業手法を取り入れており、常に教室は活気があり、明るさと和気あいあいの雰囲気の中で勉強を行っている。
- ㊟ ここは、コミュニティ協議会の本来の趣旨である地域づくりの交流の場となり、認知症予防にもなります。

3. 授業形態

受講名称	対象者	受講期間	受講時間	備考
① 通常授業	新規入門者	6ヶ月	19:00~20:30	4~9月・10~3月
② 特別授業	通常授業者、通常授業卒業生	無期限	9:00~12:00	通常授業の補完
③ サークル勉強会	通常授業卒業生	無期限	9:00~12:00	パソコンのフル活用

開催場所：青葉台コミュニティセンター

4. 実施事項

実施項目	内 容	授業回数	対象者
① PCの初歩の基本	電源のON・OFFとマウスの使い方	1.5HX1回	通常授業
		3.0HX2回	特別授業
② 文字入力 (Google日本語入力)	文字列入力の基礎	1.5HX1回	通常授業
		3.0HX2回	特別授業
③ 日本語変換 (Google日本語入力)	日本語変換の基礎	1.5HX1回	通常授業
		3.0HX2回	特別授業
④ 文書作成 (Word)	文書作成と整形、表・罫線・図形・画像の入力、	1.5HX2回	通常授業
		3.0HX2回	特別授業
⑤ 表計算 (Excel)	表計算とは？からセルの参照まで	1.5HX2回	通常授業
		3.0HX4回	特別授業
		3.0HX2回	サークル勉強会
⑥ フォルダとファイル	フォルダ・ファイルの作成・変更、ファイルの関連付け	1.5HX1回	通常授業
		3.0HX2回	特別授業
⑦ 年賀状作成 (筆まめ)	住所録とデザインの作成	1.5HX2回	通常授業
		3.0HX4回	特別授業
⑧ メールの登録と使い方 (Yahoo!メール)	Yahoo!メールの登録と使い方	1.5HX2回	通常授業
		3.0HX2回	特別授業
⑨ 各種アカウントについて	Microsoft・Google・Yahoo・Amazonアカウント等	3.0HX2回	サークル勉強会
		3.0HX2回	特別授業
⑩ デジカメ写真の保存、整形、印刷	SDカード・USBメモリーを使って実習	3.0HX2回	特別授業
		3.0HX2回	特別授業
⑪ 判子作成 (クリックスタンプ)	判子作成と活用の仕方	3.0HX2回	特別授業
		3.0HX2回	特別授業
⑫ ソフトのインストール・アンインストール	フリーソフトのインストール・アンインストールの実習	3.0HX2回	サークル勉強会
		3.0HX2回	特別授業
⑬ YouTubeから動画及び曲をダウンロード	DVDStylerで動画DVDの作成	3.0HX2回	特別授業
		3.0HX2回	特別授業
⑭ ネットワーク知識の習得	Wi-Fi (親機) の設定	1.5HX1回	通常授業
		3.0HX1回	特別授業
⑮ レジストリ操作の習得	レジストリデータの編集	3.0HX2回	特別授業
		3.0HX2回	サークル勉強会
⑯ PCのメンテナンス	ディスククリーンアップ、システムの保護の仕方	3.0HX2回	サークル勉強会
		3.0HX2回	特別授業

5. 対策と改善実施項目

- ① 画面と操作の共通化とPCのチューニング ----- 継続事業
Windows7・8がInstallされている新規受講生は全員Windows10にアップグレード
Windows10のPCも最新バージョンにアップデートとチューニング(不要なソフトの削除、ウイルス対策ソフト及び教育に必要なソフトのInstall)(チューニング台数：31台)
- ② HDDをSSDに換装してPCを高速化 ----- 継続事業
新規受講生は全員、PC内のHDDからSSDに交換(換装台数：31台)
- ③ Office2016へバージョンアップ ----- 継続事業
新規受講生で古いバージョンのOfficeがInstallされているPCは、安価版のOffice2016にバージョンアップ(Install台数：21台)
- ④ 指導方法改善 ----- 新規事業
スタッフの増員により新規受講生への指導方法をマンツーマンに近いかたちで指導
- ⑤ プロジェクタの切替え機能活用 ----- 新規事業
Wi-Fiタイプのプロジェクタの画面切り替え機能を利用(全クラス)
- ⑥ アンケートの実施 ----- 継続事業
新規受講生への説明会では「パソコンで何をしたいですか」のアンケートを実施(2回/年)、開講式に結果を新規受講生へ知らせた
終了式では「達成度・満足度」のアンケートを実施(2回/年)
- ⑦ スタッフ会議を開催 ----- 継続事業
通常授業の終了後にスタッフ会議を開催(時間：15分程度)
- ⑧ スタッフ研修会を開催 ----- 継続事業
スタッフの研修会を開催(第2.4週土曜日)

*①+②+③の作業時間は1台あたり約8時間要する。

6. 目標に対する実績

1. 入門者数

	目標	実績	比較	評価
男性	14	9	-5	△
女性	16	12	-4	△
合計	30	21	-9	△

従来は13~17名程度の申込者があるが、本年度下期のみは9名であった。
内訳は、紹介者からが3名、地区センターのチラシを見てが1名、広報さきがわを見ての申込者は4名である。
申し込み者の少なかった原因として、1つ目はパソコンブームが去ってしまっている、2つ目は定年が60歳から65歳に変わってしまったためと考えられる。
受講者が少ないため、最悪の処置として休校も考慮したが、スタッフで協議した結果、前期受講者の中から通常授業の再受講希望者11名を加えて寺子屋を続行した。

2. 開催回数

	目標	実績	比較	評価
通常授業	28	28	±0	○
特別授業	48	48	±0	○
サークル勉強会	46	45	-1	△
合計	122	121	-1	○

通常授業は目標に対して100%達成、特別授業も同じく100%達成、サークル勉強会のみ10/2(火)の台風により、停電になり休校。結果、目標に対して-1回となった。

3. 参加者数

	目標	実績	比較	評価
通常授業	420	262	-158	△
特別授業	720	867	+147	○
サークル勉強会	1,150	1,041	-109	△
合計	2,290	2,170	-120	△

通常授業は目標420名に対し-158名で大幅減です。特別授業は目標720名に対し+147名で大幅増、サークル勉強会は目標1,150名に対し-109名で大幅減、全体では目標2,290名に対し-121名で大幅減となった。

7. 成果と効果

- ① 画面と操作の共通化とPCのチューニング
各自のPCのOSが違えば、画面と操作が違えば授業そのものが成り立たない、OS内を画面と操作を同一にすることにより初めてプロジェクタを使用した授業が実現できる。
また、PC内チューニングを行った事により、PCが快適に目撃安全に動作するようになった。
- ② HDDをSSDに換装してPCを高速化
◎ Windows10の立ち上がり、従来約30~60秒程かかっていたが、SSDに換装後2・3秒で立ち上がる様になった。
◎ アプリケーションの立ち上がりについても、従来の3分の1程度の時間で立ち上がる様になった。
◎ 特にインターネットに於いては、ネット切り替え時の速度が劇的に速くなった。
*新規受講生のPCの動作が遅いことが原因で、講師の説明に追いついていけなくなる問題がほぼ解消された。
- ③ Office2016へバージョンアップ
Office2016より古いOfficeを、安価版のOffice2016(正規品)にInstallしたことにより、全員が同一画面と操作ができる環境となり指導しやすくなった。
- ④ 指導方法改善
前年度にスタッフを増員(現在12名)したことにより今年度は新規受講生への指導がマンツーマンに近いかたちで指導できた。
- ⑤ プロジェクタの切替え機能活用
HDMIケーブルに足を引っ掛ける等の安全対策としてWi-Fiタイプのプロジェクタを購入しその問題は解消した。
波及効果として、このプロジェクタは各PC画面の切替え機能がついているため、この機能を利用して、各自のPC画面を切り替えてプロジェクタに写ることによりその画面を全員で見ることができるようになった。
- ⑥ アンケートの実施
「パソコンで何をしたいですか」のアンケートでは新規受講生の入学する目的が把握できた。また、「達成度・満足度」のアンケートでは各自の目標に対する各個人の達成度と、授業の満足度のデータを得ることができた。
- ⑦ スタッフ会議を開催
スタッフの情報交換により、新規受講生への授業の指導方法と改善ができた。
- ⑧ スタッフ研修会を開催
定期的な実践的な授業(研修会)を行っているために、質問者への解答をスタッフが理解にできるようになってきており、スタッフの実力が上がった姿が随所に見えてきた。

8. まとめ

- ① できるだけ多くの方が参加してパソコン操作や知識を楽しく習得していただき、それを継続させるためには快適な環境を構築(ソフト・ハード面共)して楽しく受講できる魅力ある教室にしなければなりません。
毎年改善を継続して来たことにより非常に良い環境で受講できる体制ができてきました。
- ② 中高年受講者は、楽しく学び習得したパソコン操作や知識を日常生活や趣味に活用し、快適な生活の一助となっていると思われる。またパソコン寺子屋の教室は和やかであり、受講者同士のメール交換もでき人の輪も広がっていると思われる。

9. 協働相手

- ① 六郷まち協： 体育部会用プログラム・表彰状の作成、六郷の集い用名刺作成
- ② 六郷地区連合自治会： 敬老会用プログラム作成

10. 今後の展望や予定

- ① 今後の寺子屋の活動の継続について
定年退職年齢が60歳から65歳~70歳となり定年後にパソコンを覚えようとする気力が薄れてきているためか、2・3年前より入門者が少しずつ減少傾向にある。それに合わせて、パソコン寺子屋も少しずつ縮小していきつむりていた。
しかし、自治会の役員から特に役員はパソコン知識が必須とお話が従来からありましたので、今回、菊川市連合自治会と地域支援課のご協力により、募集チラシを自治会班回覧をして頂いたところ、大変な反響がありまして15名定員のところ40名の申込者がありました。そんなわけでもう少し頑張っていきたいと思えます。
- ② 今後、寺子屋は自主財源のみで活動
パソコン寺子屋は、令和2年度より1%地域づくり活動交付金の申請をやめ、今後は自主財源のみ運用することにした。

11. 特にアピールしたいこと。

- ① アピール
寺子屋の授業ではお互いに教え合う(学び合う)というスタイルをとっているため自然とお互いのコミュニケーションができます。受講生のみなさんが大変明るく楽しくやっている姿を是非見学してください。
- ② 受講者からの声
㊟ 毎回授業を受けるのが楽しくてしょうがない ---- 60歳代女性
㊟ 塾長とスタッフが親切に丁寧に教えてくれるため大変ありがたい ---- 60歳代男性
㊟ 何回も同じことを説明してくれるため嬉しい ---- 60歳代男性
㊟ 会費、1回200円、安すぎる ---- 70歳代女性